

みえ

県政だより

Kensei dayori MIE

平成28年(2016)

12

No.389

広報紙 平成28年12月4日発行
(毎月第一日曜日発行)

データ放送 毎週木曜日更新

「県政だより みえ」は政策情報を中心に、毎月第一日曜日に新聞折り込みでお届けしています。イベントやお知らせなど暮らしに役立つ最新情報はデータ放送でご覧いただけます。

知事が行く!
突撃取材!

Part2

～伊勢志摩に魅せられて～
三重を世界に発信する
インバウンドリーダー



裏表紙をご覧ください。

今、大地震が起きたら 命を守れますか

危機に備え、高めよう防災意識

本年4月に発生した熊本地震は、熊本県を中心に甚大な被害をもたらしました。三重県でも、南海トラフ地震や内陸直下型地震など、大地震の発生が懸念されています。

今号では、命を守るために大切な災害への備えについて考えます。

12月7日は

「みえ地震対策の日」

昭和19年12月7日の昭和東南海地震の記憶を風化させず、地震災害に強い三重を実現するため、12月7日を「みえ地震対策の日」と定め、さまざまな啓発活動を行っています。
(詳しくは2ページをご覧ください)

防災対策の心得

『3・3・3の原則』

発生

3分

揺れがおさまったら
家族の安否を
確認しよう

～3秒

落ち着いて
安全な場所で
身を守ろう

3時間

地域で協力し
人命の救出・
救護を

3日間

全ての人の安否確認と
安全・安心な避難所
運営を進めよう

3週間～

避難生活の
安定へ



熊本地震で倒壊した家屋

1 大地震から家族や地域を守る

熊本地震では多くの家屋が倒壊し、熊本県内だけで約850カ所の避難所が開設され、避難者数は18万人以上に達しました。地震発生時はまず自分や家族の命を守り、その後は地域の皆さんと助け合う、そのために必要な備えについて確認しましょう。

家族

自分や家族の命を守るために備えよう
地震発生時、自分や家族を守るだけでなく、救出活動の妨げとならないためにも、住まいの耐震化や家具固定等の対策などを行いましょ。

住まいの耐震化を進めよう

県や市町では、住まいの無料耐震診断、補強設計や補強工事の費用の一部補助を行っています。詳しくは、お住まいの市町にお問い合わせください。

三重県耐震診断市町受付 ○検索

家具等の転倒・落下防止対策を進めよう

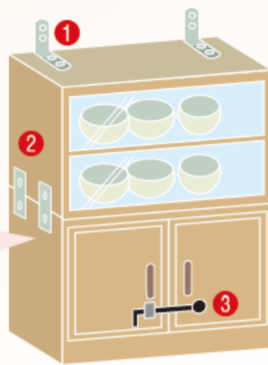
平成27年度に県が実施した調査では、約半数の方が、身近にできる家具固定等の対策を行っていないことが分かりました。家具等の転倒・落下は、けがや逃げ遅れにつながります。早急に対策を行いましょ。

備蓄品を用意しましょ

3日以上の食料や飲料水（一人一日3リットルが目安）、救急用品、懐中電灯、携帯ラジオ、給水用ポリタンクなど、家族で話し合い、必要な備蓄品を用意しておましょ。



- ① L字型金具を使って壁などに固定
- ② 上下の家具を金具で固定
- ③ 扉に金具などを使って開閉防止



地域

避難所運営マニュアルで地域の思いを一つにしましょ
大規模災害時、避難所にはその対応力を上回る避難者が集まります。限られたスペース、物資、人材の中で、皆さんが納得して避難所生活を送るには、「事前の話し合い」が欠かせません。

皆さんが意見を出し合ってマニュアルを作り、何度も訓練を実施して、検証と修正を繰り返すことが重要です。何より役に立つのは、作成の過程で得ることができる「地域での共通の考え方」です。

避難所運営に向けて話し合う一例

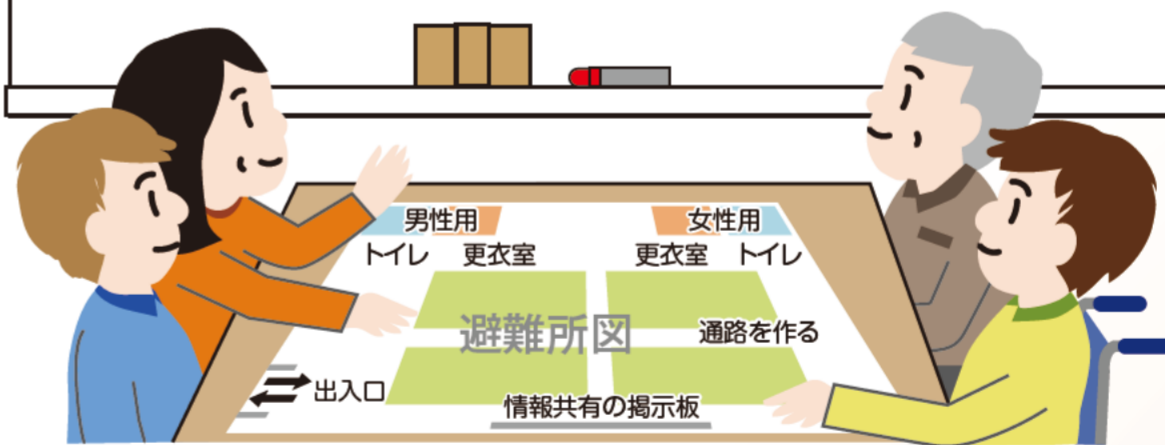
収容人数が100人の避難所に、400人の避難者が押し寄せたら？

居住スペースの使い方

- 居住スペースは早い者勝ち？
- 子ども、障がい者、体の弱い人たちを優先する？

食事の配布の方法

- 子ども、障がい者、体の弱い人たちから優先的に配布する？
- 少しずつでも、全員に等分に配布する？



2 豊かな水産資源を未来へ

三重の育む漁業

三重県は、伊勢えびや真珠など、豊かな海の幸に恵まれた全国屈指の水産県です。5月に開催された伊勢志摩サミットでは、各国首脳へ、三重の海の幸や真珠が提供され、国内外から大いに注目されました。

県では、世界に誇るこれらの水産資源を、将来にわたって安定的に供給できるよう、漁業関係者の皆さんとともに、資源管理などの“育む漁業”に取り組んでいます。

今号では、その取り組みや、大切に育てられている三重の水産物の魅力を紹介しましょ。

みえの水産物漁獲量 全国ランキング

- 第1位 ウルメイワシ、伊勢えび、アオサノリ
- 第2位 カツオ、マイワシ、イサキ、イカナゴ
- 第3位 ビンナガ、カタクチイワシ、真珠
- 第4位 サバ類、サザエ、養殖マダイ、養殖ヒラメ
- 第5位 キハダ、アサリ類、養殖ウナギ

資料：平成26年漁業・養殖業生産統計年報

獲りすぎない漁業

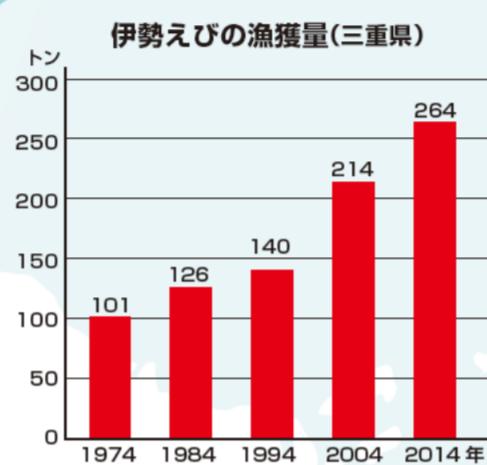
海の幸を継続的に受け取るためには、水産資源を適正に管理しながら獲っていく、「資源管理」の取り組みが重要です。

三重県では、県の規則などで、魚種ごとに獲ってはいけない大きさなどの基準を設けた「公的制限」に加え、1日あたりの操業時間制限など、「漁業者による自主的な漁獲制限」が行われています。



三重外海漁業協同組合 和具青壮年部
顧問 大山 満さん 会長 中村 龍司さん

私たちは、小さい伊勢えびが掛からないよう、網の目の大きさや糸の太さなど、「公的制限」以上に厳しい独自のルールを設けています。その結果、伊勢えびの漁獲量は年々増加しています。



育てる漁業(養殖漁業)

養殖漁業は、三重県の漁獲高(三重県海面総生産額)の約1/3を占め、安全・安心、高品質という高付加価値を生み出しています。

注目! 三重県がリードする幻の高級魚「マハタ」養殖の取り組み



分類：スズキ目 ハタ科
体長：最大1m超
特徴：体の側面に7本の帯状の模様がある

マハタは、市場での流通量が少ないため、幻の高級魚と呼ばれています。三重県では、美味で単価が高く、成長が良いマハタに注目し、平成8年度から稚魚の生産および養殖技術の開発に着手しました。平成26年度は、全国最高の18万尾の稚魚が生産され、県内の27養殖業者により、大切に育てられています。



マハタ (通年)
主要産地：尾鷲市、紀北町、南伊勢町、大紀町
主な漁法：養殖、釣り、刺し網
主な料理：刺身、鍋もの

味わってみませんか。冬にお薦めの海の幸



ハマグリ (通年)
主要産地：桑名市
主な漁法：底引き網
主な料理：焼きハマグリ、吸い物



マガキ (11～4月)
主要産地：鳥羽市、志摩市、紀北町、南伊勢町
主な漁法：養殖
主な料理：生食、焼きガキ



伊勢えび (9～4月)
主要産地：志摩市、南伊勢町、紀北町、鳥羽市
主な漁法：刺し網
主な料理：刺身、焼き伊勢えび



アオサノリ (2～4月)
主要産地：志摩市、松阪市、南伊勢町、紀北町
主な漁法：養殖
主な料理：みそ汁、佃煮

問い合わせ先／農林水産部 水産資源課 ☎059・224・2522 FAX059・224・2608 ✉suisan@pref.mie.jp

三重県 水産資源 ○検索

問い合わせ先／防災対策部 防災企画・地域支援課
☎059・224・2185
FAX059・224・2199
✉bosai@pref.mie.jp
※このほか、防災についての情報はホームページでも確認できます。

三重県防災ガイド ○検索

みえ地震対策の日シンポジウム
～熊本地震から学び、地域と学校の連携を考えよう～
日時：12月10日(土) 13時30分～16時30分
場所：伊賀市あやま文化センター
さんさんホール(伊賀市川合370-29)
※参加無料・要事前申込
※詳しくはホームページをご覧ください
お問い合わせください。
申込・問い合わせ先
三重県・三重大学 防災・減災センター
☎059・231・5664
✉bosai@arc.mie-u.ac.jp

みえ地震対策の日シンポジウム ○検索

避難所運営マニュアルづくりのポイント
トイレや女子更衣室、授乳室の設置など、女性や災害時要援護者*の意見を取り入れましょ。
*災害時要援護者：避難所生活において配慮や支援が必要な高齢者、障がいのある方、外国人、妊産婦、乳幼児など
「避難所運営マニュアル策定指針」はホームページからダウンロードできます。

三重県 避難所運営 ○検索



第9回 ~伊勢志摩に魅せられて~

三重を世界に発信するインバウンドリーダー

三重は第二のふるさと

今回は、鳥羽シーサイドホテルでインバウンド(外国人旅行者の誘致)の業務をされている李相海(リ シャンハイ)さんを訪ねました。李さんは中国遼寧省出身。大学卒業後、3年間中学校の教師を勤め、1998年来日。三重大学に留学し、2007年に同ホテルに入社されました。当時は伊勢志摩についてほとんど知らなかったそうです。この地の魅力をお客様に紹介するにはまず自分が体感しなければと、休日は各地を訪れ、写真を撮って回りました。2009年に立ち上げたホームページ「日本紀行」で、伊勢志摩を中心に三重を世界に発信されており、これまで中国や台湾などから6000万人が訪問する人気サイトとなっています。



李さんは海女に不思議な魅力を感じると言います。「人が海に潜って漁をするということも、独特の衣装も、すごく神秘的。人は自分たちと異なる文化に興味を持つので、サイトを見て三重に行きたいと思ってもらえたらうれしい」と話してくれまし



異なる文化に興味を持つので、サイトを見て三重に行きたいと思ってもらえたらうれしい」と話してくれまし

た。そして「三重は私の第二のふるさと。ふるさとの魅力を紹介することにやりがいを感じるし、地域にとっても良いことだと思ってやっている」とのこと。うれしいですね。

日本と海外の懸け橋になりたい

伊勢志摩サミットを契機に、海外の旅行会社からの問い合わせやツアーも増えたそうです。李さんに、これからの夢を尋ねると「お客様におもてなしをする延長で、日本の伝統・文化を紹介し、日本と海外の懸け橋になりたい」と話してくれました。



三重に住む私たち自身が、三重の素晴らしさに気づき、その価値を理解してこそ、心を込めて三重を発信できるということを再認識するとともに、国内外の多くの皆さんに三重に来ていただけるよう、県としてもしっかりと取り組んでいこうと感じた取材でした。

取材/知事 鈴木英敬



三重を舞台に描く夢



写真集「伊勢志摩の自然と祭り」、フォトエッセー「現代の海女」を出版されています。



ホームページ「日本紀行」(日本語版)「日本紀行 李相海」を検索

李さんのお気に入りの写真



夏至の夫婦岩



志摩の海女

- 「知事が行く! 突撃取材!」のインタビュー詳細版はホームページで。[県政だより みえ] Q検索
 - 取材の様子は三重テレビ「県政チャンネル ~輝け! 三重人~」で12月9日(金)22時15分から放送します。
 - 三重テレビで放映した取材の様子(動画)を、12月10日(土)よりYouTubeでも配信。
- 問い合わせ先 戦略企画部 広聴広報課 ☎059-224-2788 ☎059-224-2032 ✉koho@pref.mie.jp

イベント

県立熊野古道センター開館10周年記念事業
世界遺産熊野古道をはじめとする地域の価値や魅力を再認識し、体感する記念事業を、熊野古道センターで行います。

●企画展「古道センター10年の歩み」
期間/12月17日(土)~平成29年2月26日(日)

●記念イベント
日時/平成29年1月21日(土)10時30分~16時(予定)
内容/記念式典、シンポジウム、食のイベント、餅まき、他

●その他
コンサート等の記念事業を予定しています。
※詳しくはホームページをご覧ください。
問い合わせ先 県立熊野古道センター
☎0597-25-2666

お知らせ

介護職場への再就職を応援!

介護職場への再就職に必要な準備資金の貸し付け(上限20万円)を行っています。再就職後2年以上継続して介護業務に従事すると返済が免除されます。

対象者(以下の条件をすべて満たす方)

- ・県内に住民登録をしている方
- ・介護職員等として1年以上の実務経験がある方
- ・三重県福祉人材センターに求職登録をして再就職をめざす方
- ・介護福祉士、または、介護職員初任者研修等を修了している方

問い合わせ先 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会
☎059-227-5145

その他のイベント・お知らせはデータ放送で!

三重県データ放送

「県政だより みえ 暮らしの便利帳」は

三重テレビ第1チャンネル(7ch)と「d」ボタンで!

操作は簡単 2ステップ!

1 三重テレビ(地デジ7ch)視聴中に「d」ボタンを押す

2 リモコンの▲▼ボタンで「暮らしの便利帳」を選び、決定ボタンを押す



ゲームでポイントをためて応募すると、三重の美味しいものが抽選で当たるプレゼント企画実施中!

県ホームページでも「県政だより みえ」「声の三重県だより」を配信しています。

[県政だより みえ] Q検索

【県のテレビ番組】~三重テレビ(地デジ7ch)~
◆「県政チャンネル~輝け! 三重人~」金曜日22時15分~(第5週は放送なし)
県の取り組みを紹介する「現場に聞こえ」や「知事突撃取材」などを放送。
YouTubeでも配信します。 [三重県インターネット放送局] Q検索

【県のラジオ番組】
FM三重 ◆三重県からのお知らせ 月~金 7時43分~ 金 18時25分~
◆こんには三重県です 火 18時22分~
東海ラジオ ◆こんには三重県です 木 15時00分~
◆三重県の窓 金 6時36分~
CBCラジオ ◆三重県の窓 土 10時51分~

編集・発行/三重県広聴広報課「県政だより みえ」に関するご意見・ご感想をお寄せください。点字版・音声版をご希望の方は、お問い合わせください。
〒514-8570(住所不要) 三重県広聴広報課
☎059-224-2788 ☎059-224-2032 ✉koho@pref.mie.jp 県庁電話案内(各課ご案内) ☎059-224-3070

三重県の人口・世帯数 人口/1,807,573人(男性:879,722人 女性:927,851人) 世帯数/723,833世帯 平成28年10月1日現在

この広報紙は、再生紙と、環境にやさしい植物油インキを使用しています。

「県政だより みえ」の発行経費の一部に充てるため企業広告を掲載していますが、内容に関する一切の責任は広告主に帰属するものです。なお、掲載については、広告掲載業務の委託先である株式会社ホープ(☎092-716-1404)までお問い合わせください。

人気講習を追加開催! 平成28年度厚生労働省三重労働局委託事業 シニアワークプログラム

55歳以上の受講生大募集!

ハローワークに求職登録している55歳以上の方を対象に、生涯現役社会づくりを目指す就職支援事業です。

- 受講・テキスト代無料!
- 短期間で学べる!
- 最終日に企業との面接会あり!

フォークリフト講習
剪定・植栽管理講習
調理スタッフ講習...等



ランゲート株式会社
シニアワークプログラム事務局
☎050-5847-6854
(受付時間:平日9:00~18:00)

★受講をご希望の方は管轄のハローワークで申込書付きパンフレットを受け取り、記入後郵送して下さい。また、専用ホームページからでもお申し込み可能です。(http://sp.jobwork.jp)

家族葬から社葬まで、事前の相談も至急の依頼も 年中無休・24時間対応



光倫会館

【24時間365日】経験豊富な自社スタッフが対応
0120-FreeDial 0120-114248

~会員制度「心の会」は入会金5千円のみ掛金不要 会員様募集中~

- 祭壇基本価格 10%割引
- 光倫会館使用料 全額無料
- 光倫会館仮安置料 1日分無料
- 専用寝台車基本料金 1台分当社負担

■本社/四日市光倫会館 〒510-0836 四日市市松本町北大谷2015 ☎059-351-1151
■富田光倫会館 〒510-8014 四日市市富田2丁目3-7 ☎059-361-2481
■光倫会館 桜ホール 〒512-1211 四日市市桜町6613 ☎059-325-2482
■津光倫会館 〒514-0054 津市納所町47-3 ☎059-228-1151